

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学
就業力育成 3D 教育プロジェクト
<http://3dep.hosei.ac.jp/>

就業力育成3D教育プロジェクト

迎春、本年も宜しくお祝い致します。



プロジェクトメンバー 後列左より（細田 泰博）、菅野 渉、平山 喜雄、矢野 智樹
前列左より 石関 裕子、有田 五郎、藤村 博之、鈴木 美伸

プロジェクトメンバーから

教授 藤村博之（ふじむら ひろゆき） プロジェクトリーダー **一步踏み出す勇気を持つ**

私が所属しているところはイノベーション・マネジメント研究科と言います。職務経験3年以上を受験資格の一つとしている社会人向けの大学院です。そこで、私は、イノベーションを起こすにはどうすればいいかという講義を受け持っています。これまでのイノベーションに関する議論を紹介し、イノベーションを起こしてきた人たちの背景を説明し、学生たちにイノベーションを起こすマインドを持ってもらうように仕向けてまいります。ハーバード大学のクリステンセン氏が『イノベーションのDNA』という著書の中で、イノベーションを起こすには、①質問力、②観察力、③ネットワーク力、④実験力、⑤関連づける力の5点が必要だと述べています。それぞれ客観的に分析されていますが、氏は「最後に必要なのは勇気だ」と言い切ります。どんなに考えても、やってみなければわからないことはたくさんあります。来年度から私たちのプロジェクトも次のステージに入ります。勇気を持って、新しいことに挑戦していきたいと思えます。

特任教員 鈴木 美伸（すずき よしのぶ） **履歴書に書きたくなる授業を**

どんな授業を目指しているのか？この答えは教員によって様々だと思いますが、いま私がやってみたいと思うのは、学生が「履歴書に書きたくなる授業」です。履歴書で一番に来るのは専攻学問の分野（ゼミ）になるのが当然ですが、その次に来るような授業です。5年間を振り返ってわかるのは、学生の記憶に残り、他者に自慢したくなるような授業とは、決して楽単ではないことです。寧ろ、取得するのは大変だけれど、新しい知見・仲間・行動力が得られる授業です。

言い方を変えれば、学生にはまず自分の専攻分野の知識をしっかり身に付けさせ、次にその専門知識を活かした行動や他分野の学生と議論ができる力を発揮させたいです。前者が本来の大学教育であり、後者がキャリア教育なのだと思います。その点、私の担当している高学年の学部公開授業は、理想の形態です。新年を迎える度、常に新たな課題が見つかりますが、自分自身の進化を感じられる時期でもあります。本年もどうぞ宜しくお祝い致します。

プロジェクトメンバーから

特任教員 有田 五郎（ありた ごろう） グループワークの効用

今学期の最終授業終了後、一人の学生が声を掛けてきた。「先生、ありがとうございました。この授業のお蔭で友達が出来ました」学生はこの授業にグループワークがあったことで友達が出来たと考えている。しかし、自分自身が積極的に行動した結果であることには未だ気付いていない様子であった。「グループワークではどうやってグループを作ったのかな？」と答えた。こちらとしては学生が気付きを得る、そしてお互いから学ぶファシリテーションに腐心している。この学生が自らの思考回路と行動パターンを知り、それを活かして活躍することを願っている。今年もグループワークの効用を最大限に活かした授業を展開していきたい。

非常勤講師 石関 裕子（いしぜき ひろこ） 「さとり世代」の目を覚ますには

「キャリアデザイン入門」を担当して2年。「やりたいことが見つからない」そんな学生が増えています。家庭環境やネットの影響で、生まれたときからほしいものが比較的すぐ（無料もしくは安価で）手に入る生活に慣れていて、自分で工夫したり考えたりする機会がなかったからなのか。個性を大事にする（はずだった）ゆとり教育もあいまって、「失敗すると傷つくし、カッコ悪い。それなら最初から何もしない方がいい」と、努力する前にあきらめてしまう「さとり世代」の学生たち。自分の授業の目標は、そうした学生にいかにかやる気を出させるか。「失敗はネタになる」そういつつ自分の半生を語ると、みんな納得してくれるにつけても、失敗だらけの人生でよかったと思う今日この頃です。

事務局スタッフ 平山 喜雄（ひらやま よしお） 「見ざる、聞かざる、言わざる」は「学ばざる」？！

今年は申年です。「猿」と言えば有名な三猿。「見ざる、聞かざる、言わざる」というあれです。本来の意味は、「子どものときは、世の中の悪いことを見たり、聞いたり、言ったりしないで、素直なまま育ちなさい」ところらしいです。この歳になると（見てはいけないもの）を見たり、（嫌なことを）聞いたり、（余計なことを）言ったりしますので、「目と耳と口をつつしみ、厄を避ける」という、いわゆる大人の処世術的な意味のほうがびんと来たりしますが（笑）。とは言え学生の皆さんはぜひ「（いろいろなもの）を見て、（いろいろな意見を）聞いて、（自分の意見を）言って」ください。まさにそれが大学の「学び」です。そういえば干支はもともと農作物を育てる際の季節や天候の目安として利用されていたもので、「申」は「草木が十分に伸びている時期」を表すそうです。「申」ににんべんをつけると「伸」になりますね。学生も大学での「学び」を糧に伸びて行ってほしいです。くれぐれも「学ばざる」になりませんように！そういえば「思いて学ばざれば～」という論語の言葉をどこかで見たような気が……。ちなみに「三猿」はヨーロッパやアフリカなど世界中にあるみたいです。これからは「学び」もグローバルですので、世界中の「三猿」を調べてみるのも面白いかもしれませんね。

事務局スタッフ 細田 泰博（ほそだ やすひろ） マネージャーの頑張りがタレント＝才能を開花させる

昨年11月に、本学FDセンターの催しで講演をさせていただきました。他大学を含めた教職員の前で話すなんてことはほとんど初めてです。「大規模授業におけるアクティブ・ラーニングの工夫」というお題をいただき、事務局職員として工夫した経験を紹介しました。この催しでのメイン・ディッシュにはアクティブ・ラーニングの大家が揃っていましたので、私はほんのデザートとして「面白体験」のお話をしましたが、終わりに「事務局職員は、教員のポテンシャルを信じて、やる気と能力を引き出すことこそが役割だ」としめくらせていただきました。その考えも、このプロジェクトで培ったと言って過言ではありません。今年もこの信念のもと、日々の仕事のモチベーションを上げていきたいと思えます。

◆ シンポジウム開催のご案内

3月5日（土）にシンポジウム『大学の学びが「働く力」を高めた』～法政大学が進める産学連携大学教育改革～を実施いたします。働く力を育成する関連科目と就業力育成3D教育プロジェクトの各取組みのこれまでの成果報告と、卒業生・在学生を招いてパネルディスカッションを行います。終了後には、懇親会がございます。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

◇ 日時：2016年3月5日（土）13:00～18:00 ◇ 会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26F A会議室
詳しくは当プロジェクトのホームページ <http://3dep.hosei.ac.jp> でご案内しています。

◆ 編集後記：先月に開催されました第7回ビデオ研究会において、ビデオ教材を使用した授業の受講生2名が、受講した感想と今後の学生生活の展望を発表しました。発表した学生は2名とも体育会系の学生でしたが、ビデオ教材の内容をしっかりと捉えながら自身の考えを昂然と発表しており、非常に立派な学生でした。昨今の体育会系の学生は文武両道の道を歩んでいると感心し、私自身も背筋が伸びる思いになりました。今年もよろしくお願いたします。《事務局 矢野（体育会ラグビー部出身）》

法政大学 就業力育成3D教育プロジェクト（事務局：学務部教育支援課）

〒102-8160 東京都千代田区富士 2-17-1

TEL: 03-3264-9520 WEB: <http://3dep.hosei.ac.jp/>

就業力育成3D教育プロジェクト